

FS秋田県鹿角市

プログラム概要：ZOOMにて、鹿角市役所の役員の方やDMOの職員の方の話を聞き、地域の活性化について提案した。

実習先：秋田県鹿角市(ZOOM)

実習先情報：鹿角市では自然、歴史・文化、食、気候に重点を置き、市をPRしている。

参加人数：8名

学部学科：日本文学文化学科、グローバルコミュニケーション学科、データサイエンス学科、政治学科、経済学科、社会福祉学科、数理工学科

実習期間：令和3年8月5日～8月19日

本学担当教員：鈴木純一（会計ガバナンス学科）

○はじめに

私たちは今回のフィールドスタディーズで秋田県鹿角市が観光客や人口を増やすために行っていることについて学んだ。最終日には、自分たちが思う観光客や人口を増やすために鹿角市がすべきことを若者の視点で提案させてもらった。

○実習内容

8月5日（木）15:00～16:40

- ・ガイダンス
- ・地方が抱える課題とこれまでの取り組み
- ・鹿角市役所 海沼さんとの顔合わせ

8月12日（木）15:00～16:40

- ・秋田県鹿角市の概要
- ・グループ・ディスカッション(気づき、疑問の整理)

8月13日（金）10:40～16:40

- ・鹿角市役所 職員からのガイダンス(鹿角市の現状と課題)
- ・質疑応答
- ・グループワーク(解決策の検討)

8月16日（月）10:40～16:40

- ・鹿角市役所 職員による観光・伝統文化講義(世界文化遺産、無形文化財などの地域での位置づけ、役割など)
- ・質疑応答
- ・グループワーク(解決策の検討)

8月17日（火）10:40～16:40

- ・鹿角市 DMO職員による講義(街おこしの取組事例と課題など)
- ・質疑応答
- ・グループワーク(解決策の検討)

8月18日（水） 10:40~16:40

- ・グループワーク（成果発表準備）
- ・成果発表

8月19日（木） 10:40~16:40

- ・担当教員による振り返り

○提案したこと

- ・SNS発信の方法（ハッシュタグを多くつけること/方言での投稿）
- ・たんぽ小町（ゆるキャラ）の活用（しゃべる）
- ・海外への情報発信（ウェイボー上での発信）
- ・アニメとのコラボ
- ・ドラゴンアイ関連のお菓子の開発
- ・気軽にたんぽ鍋を食べれる工夫
- ・SNSと旅館を連携させて安く泊まれるようにする



○経験したこと、学んだこと、など

- ・一つの街を活性化させることの難しさを学んだ。
- たくさんの方のことを考えなければいけない
- ・たとえ見えなさそうな意見でも積極的に出してみる
- とりあえず意見を出すことは、グループワークを盛り上げたり、誰かの考えのヒントになることがある。

○今後の展開、今後の学び、など

- ・鹿角家（関係人口）になって、鹿角市に関わることで鹿角市を盛り上げることができる
- ・今はふるさと納税などで納税することによって簡単に街の活性化に関わることができる

○まとめ

今回のフィールドスタディーズで学んだことは、他の市町村を復興させるときにも利用できるため、貴重な体験になった。自分たちの市町村を知らない人、興味を持っていない人にどうやってここにいてみたいと思わせるかを考えることは簡単そうではあるが実際やってみると難しかった。

難しい理由として、何をアピールしたいのか、どの方法を使って発信していくのか、どの年層を狙うのか、どこの人に向けて発信するのかなどを結びつけて考えなければいけないからだ。

このフィールドスタディーズを通してこの考え方を学んだので、これからはこの考え方をいろんなところで生かしていきたいと思う。